

スピードメモ法のすすめ(中根式簡易速記法)

10ほどの法則性で、今のメモ書きのスピードを3倍に!

主催：愛知産業大学短期大学 共催：岡崎大学懇話会

我々はよく略字を書きます。なぜ略字を書くかといえば速く書くためであります。ただ自分流であり、法則性はありません。しかし、ここで紹介するスピードメモ法は熟語等画数の多い言葉に法則性をもたせて略字化しました。従って、法則性を習得すれば誰でも反訳できます。これが画期的なのです。

講座で使用しているレジメから二、三紹介します。

原則：発音する言葉(読み)はカタカナ使用 「疑問点」「ギモンテン」

「ン」を省くスピードメモ

辞書には「ン」の付く言葉が多く出てきます。この「ン」が省略できれば速く書けます。先程の「ギモンテン」は「ン」が二つ付くので、「ギ^{モテ}」と書きます。

つまる音「ツ」を省くスピードメモ

「速記」「ソッキ」と発音します。これを「^ッキ」と書きます。これでつまる「ツ」が省略できました。「ン」省きと「ツ」省きは上段と下段を利用しているので区別がつきます。

この例をはじめ10ほどの法則性を理解すればすぐにでも活用できます。

IT化は重要ですが、一方手書きの部分がおざりになっているように感じられます。場面に応じてスピードメモ法で手書きをすると右脳の活性化にもなります。

【日時】平成23年11月25日(金)午後2時~4時

【講師】愛知産業大学短期大学 専任講師 奥村幸夫

【会場】岡崎商工会議所 402会議室(4階)

【定員】30名 無料。当日は筆記用具をご持参下さい。

【問合せ】愛知産業大学短期大学 48 8282

【申込み】岡崎商工会議所 53-6190、FAX53-0101 担当:市川



【申込み】FAX:53-0101 岡崎商工会議所 市川行

【スピードメモ法】11/25(金)

事業所名(個人の方は空白で)	参加者名	電話番号	FAX番号

ご記入いただいた情報は岡崎商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用するのをはじめ、講師には参加者名簿として配布します。